

## 令和3年度 第2回学校協議会 要点録

令和4年1月19日(水) 19:00~20:05

於：味生小学校 会議室

記録 清家 伸次(事務局:本校教頭)

校長挨拶：新型コロナウイルス感染拡大防止に対する様々な対策を講じているが、新規感染者の著しい増加は、いつ学校に押し寄せてくるかわからない。それを危惧しながら、改めて感染対策の徹底をしているところ。3学期は、本校の研究発表会とフリー参観を予定していたが、このような状況では実施が危ぶまれている。すぐに中止ではなく形を変更し、この状況下でも実施する方法を模索しながら、教育活動を継続する努力が必要と感じている。

### 1. 令和3年度学校経営計画及び学校評価について

- ・ 「今年度の重点目標と具体的な教育活動」、「中期的な目標」の中から本校学校教育自己診断の保護者アンケートの評価項目として上げている部分を中心に現状の説明を校長から説明。

### 2. 令和3年度 学校教育自己診断(保護者アンケート)集計速報値について

(状況説明)

- ・ 昨年度より肯定的回答の割合が上昇している項目
  - 質問4「学校はお子さんのことをよく理解し、指導している」
  - 質問12「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」
  - 質問16「学校は、お子さんのことについてよく相談に応じてくれている」
  - 質問18「学習の内容や進度等を、懇談や学年だよりなどによって知ることが出来る」
- ・ 昨年度より肯定的回答の割合が下降している項目
  - 質問13「運動会・林間学校・修学旅行等の学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている」
- ・ 情報発信に関わる項目は、肯定的回答の割合が高い項目と低い項目が混在している。
  - 質問7「学校は、教育方針をわかりやすくつたえている」
  - 質問17「学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている」
  - 質問18「学習の内容や進度等を、懇談や学年だよりなどによって知ることが出来る」
  - 質問21「学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である」
  - 質問22「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」
- ・ わからないという回答が多かった項目
  - 質問17「学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている」
  - 質問8「学校は保護者・地域の願いに応えている」
  - 質問15「学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている」
  - 質問20「学習環境をよくするため、学校の施設・設備は改善されている」
  - 質問12「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」

(意見交換)

委員：今年度の回答率から考えると、実数はあまり変わらない可能性もある。

数値が上がったとか下がったとかいうだけで、人数はあまり変化していないかもしれない。

委員：回答率の低下は、なぜ起こったと考えるか。

校長：今年度からオンライン回答にしたが、準備期間が少なく、周知できなかった。

委員：肯定的な回答が多いものは、学校の取組みの成果だと思う。

暴力行為も減少し、安心して学校に行かせることが出来ていると考えてもいいのではないか。

会長：情報発信とも関連するが、今回の新型コロナに関わっての学級閉鎖の連絡が全保護者に回っていないのはなぜか。

校長：風評被害の事も考えて、周知する学年を絞った。

会長：学校としては、いろいろ考慮しての行動だと理解する。発信も対象を考える必要がある。

会長：地域のこども会がなくなり、活力がない。子どもが元気にならないと地域が元気にならない。

学校から地域への呼びかけはできないか。地区体育祭なども子どもの参加が減っている。

地域ももっと保護者を巻き込んでいきたいが、そのためにはまず子どものことを考えたい。

委員：子どもが動けば、必然的に保護者も動く。

学校が、地域を高い目線から見ているらダメだと思う。

会長：コロナの影響もあるが、自治会への加入も減っている。その歯止めを自治会でもできていない。

地域や保護者の願いを学校と共有できていないことが問題。共有することで、学校の動きが地域にわかってもらえる。いろいろ発信をしていると学校のことを理解してもらえるとと思う。返事や反応を待つばかりではなく、どんどん発信することも大事。

委員：学校だよりなどのデジタル化も大切と考える。より広く速く伝わりやすい。

委員：PTAの参加も自由に選ぶことができるようになった。PTAがある時はなぜという気持ちもある人も多いが、なくなれば困る。なぜ？加入への同意を取るようになったのか？

校長：個人情報の利用に対しての同意が必要になり、併せて加入への同意も取っている。

PTAは元来、任意の団体なので、加入も自由という意見にも対応する形をとっている。

実情としては、今年度、初めて加入に同意しないという数が過半数を割り込んだ。

会長：PTAが地域と学校との懸け橋になればいいと思う。

地区懇談会で学校が生徒指導上の問題をキチンと地域の人に出してくれた時、地域も一緒に動こうという流れができた。PTAが設定した場所で、学校、家庭、地域が問題を一緒に考えるという例である。また、学校からの要望をもっと出して欲しい。我々は味方する。

そして、校長は地域の顔になる人。地域も、校長が話すとき聞いてくれる。

委員：アンケートの結果も、どう分析するかは難しい。学校がめざしたい方向をしっかりと示し、それについての意見を聞くというサイクルをしっかりと作ることが大切。質問項目が難しいが、意味のある取組みにして欲しい。

委員：教員と児童の回答の食い違いはないかなど、多面的にとらえていくことも大事。複数年にわたって考えていくことも大事。単年の数値の変化で、一喜一憂してもあまり意味がない。

もっと、これから学校がやりたいことに対して、様々な意見を聞く方が良い。

委員：アンケートはアンケート。真面目に回答する人もいれば、いい加減な人もいるかもしれない。

数字だけ見ても、いいところも悪いところもある。学校の目標に合っているのか。いい加減な意見に惑わされるのであれば意味がない。

委員：同じ質問項目で保護者と児童とで回答が違ったら、何が問題かということ进行分析することが大事。

学校でいい顔をしていたり、家でいい顔をしていたり、違うところでダメなことをしたりなどがあり、様々な目線が大切。多面的に物事をとらえ、児童の安心できる場を考えなければならない。教育は時間がかかるもの。もっと長い目で考えて欲しい。

委員：登下校の時、時には校長先生と一緒に登下校するなどの、学校の広告塔の役割をして欲しい。

また、教職員には名札が欲しい。最近、マスクだし、誰なのか余計わからない。

委員：情報発信の形をもっと考えていかないといけない。学校だよりや学年だよりにも家庭で話すネタになるような内容をもっと入れていかないといけない。

委員：管理職も短い期間で入れ替わるので、人とのつながりが薄れている時に何ができるのか。

PTAでも自治会でも、入れようとばかり考えるのではなく、つながりやかかわりが大事だということを訴えながら、新しい形を考えていくことが必要。

委員：地域を回る、正門で挨拶をするという校長先生を見たい。地域も、校長先生の言うことは誰でも聞いてくれる。校長先生が思う以上に尊敬されている。

味生小学校をどうしていくか、どうしていきたいかを考えることが校長の役目。課題があるからこうしていきたい、という思いをもっと前に出して欲しい。

校長：アンケートに込めた学校の願いや思いを、今後さらにしっかりと示していきたい。

### 3. その他

- ・ 味生小校区自主防災訓練の開催の可否については、2月上旬に判断。今回は勉強会という形なので、資料配付という形に変更していきたいと考えている。※開催中止
- ・ 2月7日(月)に味生小学校研究発表会を開催。委員の皆様の参加も可能。

### 4. 今後の予定について

- ・ 第3回：令和4年2月16日(水) 19:00～
- ・ 第4回：令和4年3月9日(水) 19:00～
- ・ フリー参観：令和4年2月14日(月) 1～4限 ※開催中止